

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・

地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- 次世代の担い手育成に取り組みます！・1P
- 福祉資格講座一年の振り返り…………… 2P
- 愛知県NPOと大学・企業連携・協働促進事業・2P
- 介拓AWARD2022…………… 3P
- サポちたインフォメーション…………… 4P

次世代の担い手育成に取り組みます！

■2023年度事業計画のご報告

3月20日、第142回理事会にて、2023年度事業計画案並びに予算案が承認されました。5年後を見据えた活動方針『0歳から100歳の地域包括ケア』の実現に向けて、今年度は、介護福祉の世界を広げながら、次世代の担い手育成に向けた3つの取り組みを行ってまいります。



①介護福祉の世界にチャレンジする高校生を応援する『介拓奨学生プログラム』の運営基盤強化のため、介護職員初任者研修課程を安定的に提供します。また、本プロジェクトの協力団体を募り、体制の強化を図ります。

②旅行会社と連携を図り、NPO現場をめぐる研修を再開、安定した研修運営を行うことで、地域で暮らす市民が主体となる、支え合う関係づくりを促進します。

③マネジメントセミナーや減災のまちづくり研修の機会を通じて、NPO中堅職員同士の顔をつなぎながら、NPOで働く意義やNPOネットワークの強化を目指します。

■グッドガバナンス認証更新のご報告

3月29日、NPOの信頼性の証『グッドガバナンス認証』を更新することができましたこと、皆様にご報告申し上げます。

グッドガバナンス認証とは、非営利組織の組織評価を行う、日本で初めての第三者審査機関である公益財団法人日本非営利組織評価センター（JCNE）が定める評価基準に基づき、専門の評価員が団体を訪

問し、ヒアリングや書類確認によって組織運営の状況の評価をしています。その評価結果をもとに、非営利組織の中でも組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルの団体を認証しています。寄付をしたい、ボランティアとして参加したいという市民や企業の方が、期待をかけて支援ができる団体として紹介しているのが『グッドガバナンス認証団体』で、28都道府県67団体（現時点）と全国に広がっています。愛知県では、（N）りんりん（半田市）、（N）ゆめじろう（武豊町）もグッドガバナンス認証団体です。

代表理事 市野恵

◆会員交流会◆

日 時：5月30日（火）10:00～12:00

会 場：知多市市民活動センター 2階会議室

内 容：日本福祉大学サービスラーニング担当の藤井渉先生、両角達平先生、菊池遼先生をお招きし、新年度体制に向けた情報交換を行います。

参 加：無料、関心ある方はどなたでも

申 込：5月24日（水）迄

◆通常総会◆

日 時：5月30日（火）13:15～14:30

会 場：知多市市民活動センター 2階会議室

審 議：事業報告及び決算、役員を選任、他

今年度は、会員交流会並びに通常総会は対面にて開催のため、オンライン配信の予定はございません、予めご了承ください。なお、ご質問・お問い合わせは、安藤、山森までお願いします。

■愛知県NPOと大学・企業連携・協働促進事業 「連携・協働のためのコーディネーター専科」 「連携・協働のための地域円卓会議研修」

多様化・複雑化する地域課題の解決のためには、NPOと行政だけでなく、大学、企業、地域など、多様な主体がそれぞれの特長を生かし、連携・協働することが求められている。これに対し、行政や市民活動センターは、連携・協働のコーディネーターを担ったり、課題解決に向けて協議する場（地域円卓会議）を設計・運営する役割が期待されている。そのための研修、「連携・協働のためのコーディネーター専科」（全4回）と「地域をつなごう！連携・協働のための地域円卓会議研修」（全5回）を、愛知県からの委託を受け、（N）ボランティアネィバーズ、（N）ボラみみより情報局、当法人の三者で実施した。研修から見えてきた、ポイントを紹介する。

＜連携・協働とは＞

「目的が共有されている」、「相互理解がされている」、「対等な関係が築かれている」、「自主性が尊重されている」ことなどを押さえつつ、複数の主体が一緒に何かをすること。

＜連携・協働のコーディネーターの5つの役割＞

①脚本の作成（課題解決のためにどんな事業が考えられるか）、②主体の配役（解決に必要な資源を有する主体を集める）、③資源（使命・人材・資金・物品・情報）の調達、④場の演出（雰囲気づくり）、⑤合意形成（総力の結集）の促進

＜連携・協働のコーディネーターに必要な5つの力＞

①情報を集める力（課題、資源、事例、連携・協働相手を知る）、②対話を深める力（コミュニケーションを積み重ねる）、③プロデュースする力（相手の立場に立った提案、共に事業をつくりあげる）、④記録する力（記憶ではなく記録を）、⑤発信する力（発信することでチャンスが巡ってくる）

＜地域円卓会議とは＞

地域課題について、関係者を含む多様な主体が、対等な立場で話し合う場。メリットは、多様な主体が関わることで、複数の着眼点から、課題解決への新しい動きを生み出していくことができる。



「地域円卓会議研修の様子。」

＜地域円卓会議で成果を生むアイデア＞

①集合知を生み出す（一人で考えたり、専門家が集まるより、多様な主体が集まって、導き出した考えの方が正しい）、②まるい会議をひらく（形式的な

会議ではなく、形式ばらない会議を。そうすると、参加者が刺激し合い、話し合いが活性化する。フラットな関係も大切）、③結果、課題解決（課題を小さいことに割り当てる。課題ではなく、好きなこと・できることにつなぐ）



これらの研修も3つのNPO法人の連携・協働で企画・運営した。会議を積み重ね、それぞれの資源（人脈や経験など）を生かし合い、よりよい研修にすることができた。研修

の内容をまとめた報告書は、あいちNPO交流プラザのホームページで見ることができる。（早川）

<https://www.ai-chi-npo.jp/topics2030.html>

■福祉資格講座一年の振り返り

○介護職員初任者研修

12/22～3/24（20名）@日本福祉大学美浜キャンパス

3月24日、修了式を迎え、20名が修了した。2022年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、一部の講義をオンラインで実施した。コロナ禍で、中止していた実習を3年ぶりに再開し、実習生は体調管理に細心の注意を払い、これまでの研修の振り返りとして、希望する施設で実習を行った。

「自ら声を発することができない利用者であっても、目線や表情などのコミュニケーションを大切にすることを学んだ」、「利用者の個別性に合わせ、移乗する際にタオルやスライディングボードなどが準備



されていた」、「職員が、利用者に対して明るく丁寧に接していて、笑顔で過ごされてる人が多かった」など、実際の介護現場で多くのことを学んだ。

4月から介護現場へ就職する人、アルバイト先のスキルアップとして受講した人、受講目的は様々だが、修了生のさらなる活躍を期待している。

○強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）

基礎研修 ① 5/28、29（40名） ② 8/20、28（39名）

③ 11/12、13（21名） ④ 2/11、19（37名）

実践研修 ① 9/4、11（28名） ② 3/5、12（40名）

2022年度は、開催時期によって受講者数にバラつきがあった。今後は、受講生アンケートをもとに、事業所で働く人たちが受講しやすい時期を検討しながら、開催時期を設定していきたい。



基礎研修ロールプレイの様子。

研修の目的は、障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことで、強度行動障害が低減し、安定的な生活を送ることが知られており、適切な支援を行う職員の人材育成であるが、事業所加算目的での受講も多く、研修内で学んだ支援方法を実践できている事業所は少ない。全国的にフォローアップ研修やコンサルテーションを用いて事業所の支援力向上が求められている。この地域ではまだ一部でしかフォローアップ研修等が実践できていないのが現状であり、今後も講師と情報共有を行い、強度行動障害を持つ人の地域生活がよりよいものになるよう協力していきたい。

○喀痰吸引等研修（第3号研修）

① 7/8、15（基礎11名、実地29名）

② 1/6、13（基礎9名、実地15名）

経管栄養演習で使用するシリンジなどの備品を、2022年度より新規格品を導入して行った。購入に際して、（社福）ひかりのさとのおのぞみの家、（株）八神製作所にご協力いただいた。



経管栄養演習の様子。

また、研修を受講した介護事業所からは、支援体制づくり（医療関係者との連携、安全委員会の設置等）について多く相談が寄せられた。介護職員がたんの吸引等の支援を行う場合、事業所は登録事業者として県に申請を行うが、その後の体制づくりは事業所任せである。かかりつけ医との連携や会議の持ち方について、参考になる情報がなく、日々の業務に追われ手が回らない状況もあるという。医療的ケアを地域で支えていくため、人材育成は急務だが、事業所が安心して支援を継続できる体制づくりも、同時進行で進めなければならない。登録事業者同士の横のつながりをつくり、気軽に情報交換できるネットワークづくりの必要性を感じている。（山森）

■介拓AWARD2022

3月19日、介護職員初任者研修課程取得を目指す高校生を応援する「介拓奨学生プログラム」に参加した高校生が、これまでの学びや経験を発表する場「介拓AWARD2022」が、（公財）あいちコミュニティ財団主催で開催された。オンラインを含む観覧参加者43名が、高校生の発表に耳を傾けた。

登壇者4名の発表では、「プログラム参加後、介護に対するイメージが変わり、相手のことを考えて

行動できるようになった」、「障がいや高齢施設でのアルバイト経験の中で、利用者からの感謝の言葉や支援している子どもたちから元気をもらっている」、「進路が明確になったことで、不安が解消され、友だちに対して積極的に関われるようになった」、「人前で話すことに自信がついた。今後、小中高生に介護の魅力を伝えていきたい」など、成長の様子と新たな目標が語られた。最優秀賞は岡谷若葉さん（高3）、優秀賞は服部寛己さん（高1）、在校生特別賞は川合航生さん（高2）と桜井一成さん（高2）が受賞した。

観覧者と高校生、プロジェクトメンバー、関係者の座談会では、高校生の発表やプロジェクトに関心が集まり、この取り組みをもっと多くの人に知ってもらう機会を設けることや、子どもたちが早い段階で実体験できる場の必要性が語られた。

高校生に初めて会った時の不安そうな表情からは、想像もできないくらい自信をつけた様子に、会うたび驚かされる。大人になるまでに、どんな人に出会い、どんな体験をするかで、自分の未来を切り開いていく力が変わっていくのかを実感した。プロジェクト参加を通して、様々な社会問題をつなげて考える機会をもらっている。今後も多くの団体とつながり、その課題に向き合っていきたい。



「介拓AWARD2022」参加者の記念写真。

今年度のプロジェクトでは、より多くの高校生へ機会をつなげるため、介護職員初任者研修を年2回の開催を予定している。興味のある学生へ広報の協力をお願いしたい。（山森）

高校生のための介護職員初任者研修

（受講費、交通費無料）

○平日集中コース（通信制、定時制高校生向き）

5月13日開講予定

説明会①日時：4月16日（日）13:30～

場所：労働会館（名古屋市熱田区）

②日時：4月24日（月）13:30～

場所：とよた市民活動センター（豊田市）

○夏休みコース（全高校生向き）

7月中旬開講予定

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せください。

■第21回 杜の宮市

2001年から開催されている、市民手づくりのクラフトフェア。アート、クラフト、体験教室、飲食物など、約380のブースが1.5kmほどの会場に広がる。無料休憩所やライブもあり。ちよこっとボランティアも募集している。

〈日時〉5月6日(土) 10:00~16:00 (雨天決行)
〈場所〉一宮市 真清田神社境内、宮前三八市広場他
〈HP〉<https://www.miyaichi.net/>
〈問合せ〉杜の宮市準備委員会
☎070-5641-1188 FAX0586-72-8885
メール info@miyaichi.net

■【募集】まちづくりマネージャー

一宮でのまちづくり事業で、運営、企画、管理などマネジメント業務に関わりませんか。まちづくりの最前線で連携や協働を推進し、将来像を検討し、活性化をはかる。

〈業務内容〉中間支援、まちづくり、コミュニティ、まつりづくり
〈雇用形態〉パート、リモートワーク、セカンドワーク、常勤も可
〈時給〉1,000円~1,800円(研修期間あり)
〈場所〉一宮市中心地ほか
〈HP〉<https://www.shimin.org/>
〈問合せ〉(N)志民連いちのみや(担当:星野)
☎090-2265-9188 FAX0586-72-8885
メール info@shimin.org

■【スタッフ募集】(N)くるくる

(N)くるくると一緒に働くスタッフを募集している。新卒、第2新卒、サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者、パート。詳細は、HPを参照、または、電話にて問い合わせを。

〈事業内容〉放課後等デイサービス、就労支援、生活介護等
〈資格〉不問(保育士、心理士、介護福祉士等あれば優遇)
〈場所〉刈谷市内5カ所、安城市内2カ所
〈応募〉新卒・第2新卒は、マイナビから
その他は、HPから、もしくは、電話にて
〈HP〉<http://kurux2.org/>
〈問合せ・申込〉(N)くるくる(担当:金森)
☎0120-196960

■【募集】介護職員初任者研修

(認N)ネットワーク大府が、第17回「介護職員初任者研修」を開講する。

〈日時〉4月24日(月) 開講式
4月28日(金)~6月22日(木) 講義
6月26日(月)~6月30日(金) 一日施設実習
7月3日(月) 修了式
〈場所〉ネットワーク大府 研修室
〈受講料〉55,000円(税込)、テキスト代4,400円(税込)
〈定員〉20名
〈募集締切〉4月21日(金)
〈問合せ・申込〉(認N)ネットワーク大府(担当:豊田)
☎0562-44-3735

■【助成金情報】ベティ基金

(株)RandTカンパニーの出資による基金。制度によらない障がい者福祉活動を行う、ボランティア団体・NPO法人を応援し、地域の障がい者支援に役立ててもらうことを目的とする。

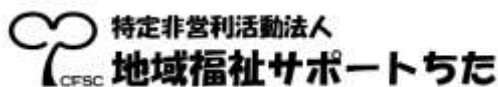
〈応募制限〉知多半島で活動し、障がい者支援を行う団体
〈募集期間〉5月1日(月)~7月31日(月)
〈助成時期〉9月
〈選考方法〉審査委員会(8月開催)にて決定
〈HP〉<https://sapochita.wixsite.com/betty>
〈その他〉年3回募集、11月に出资日期との交流会あり
2022年度助成実績 6件 738,000円
〈問合せ・申込〉(N)地域福祉サポートちた(担当:山森)
☎0562-33-1631 FAX0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp

..*☆..*☆* *:*°..☆..*☆*:*☆..**:*

【報告】ウクライナ支援募金

2022年3月より進めてきました「ウクライナ支援募金」は、2月末時点で、総額725,956円となりました。皆様からのお心遣いに感謝申し上げます。こちらは、(N)日本ウクライナ文化協会へお渡ししております。今後は、(N)日本ウクライナ文化協会へご連絡ください。(http://jp-ua.org/donate-us/)

:*°☆*:*°..*☆..*°☆*:*°*☆°:°..☆*:*°



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆入会・寄付について◆

活動や組織の基盤となる資金を、会員みなさまからの会費やご寄付で支えていただいております。団体の理念や事業に賛同していただき、ご支援ください。

【年会費】

○正会員/(団体)15,000円(個人)5,000円
○準会員/(団体)5,000円(個人)3,000円

【振込先】

三菱UFJ銀行 知多支店(普)1413965
特定非営利活動法人地域福祉サポートちた